

釧路南ロータリークラブ会報

第25回 例会報告 2022.3.18 通算1875回

・点 鐘 亀井会長

・ロータリーソング

「君が代」「奉仕の理想」「四つのテスト」



ソングリーダー 石井 昌宏会員



工藤ゆかり会員

・誕生祝

長江	孝文会員	S 41. 2. 5 (56歳)
前田	裕治会員	S 41. 2. 9 (56歳)
安藤	整治会員	S 24. 3. 1 (73歳)

・入会記念祝

上川原	昭会員	H23. 2. 4 (11年目)
亀岡	孝会員	H24. 2. 17 (10年目)
川越	直人会員	R3. 2. 19 (1年目)
工藤	ゆかり会員	H8. 2. 23 (26年目)
長井	一広会員	H20. 3. 7 (14年目)



川越直人会員



長江孝文会員

・結婚祝

森江	洋之会員	H6. 1. 29 (28年目)
佐久間	光弘会員	H27. 3. 3 (7年目)
前田	裕治会員	H3. 3. 10 (31年目)
奈良	清成会員	H8. 3. 16 (26年目)
小向	建一会員	H17. 3. 21 (17年目)

・会長挨拶



皆さま、こんにちは。前回の例会が1/21でしたので今日は約2か月ぶりの例会となります。

まん延等防止措置の解除は3/21となっておりますが釧路管内の状況も鑑みて本日は、プログラムのみでお弁当をお持ち帰りいただくこととなります。

休会している間、2/24に始まったウクライナ侵攻、3/7にはまん延等防止措置の延長、一昨日3/16の深夜には福島県沖を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生し、またしても震度6強を観測し東北地方では甚大な被害となっています。

地震発生から一夜明けると視聴者投稿の動画や、東北新幹線やまびこが17両編成のうち16両もの脱線、昨日には病院の貯水タンクに亀裂が入り透析患者さんだけでも毎日50tもの水を要するため夜通しで補修工事をするなか、自衛隊が補給活動をしている映像などが報じられていました。

3.11から11年目が経ったばかりで今回は大津波がなかっただけでも被害は抑えられているかもわかりませんが私達も対岸の火事とは言えません。感染対策に加え、災害対策を強化することも重要です。



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

・幹事報告



- * 3月のロータリーレートは1ドル116円です
- * 各クラブより3月のプログラムが届いております。
- * 根室ロータリークラブより会報が届いております。
- * 新型コロナウイルス感染症に関する友事務所対応の件についてのお知らせが届いております。
- * 2022年2月、3月発行のハイライトよねやまが届いております。
- * 釧路市民活動センターより第109号わっとだよりが届いております。
- * 2022年6月にヒューストンで行われます、国際ロータリー年次大会の参加旅行募集のご案内が届いております。
- * ポール・ハリス・ソサエティ認証式のご案内が届いております。
- * ガバナー会並びに三木ロータリー財団管理委員会委員より、ウクライナへの緊急支援のご協力のお願いが届いております。
- * RI日本事務局より3月発行の財団室NEWSが届いております。

それぞれ回覧にてご覧ください。

- * ロータリーの友2月号、3月号がレターケースに届いておりますので忘れずお持ち帰りください。又、本日例会後、理事会を開催いたしますので、理事者の皆様宜しく申し上げます。

・委員会報告

親睦委員会 奈良親睦委員



・親睦委員会からのお知らせ

川越直人会員より葬儀のお礼を頂いております。

・本日のプログラム

「水と衛生月間」

担当 環境青少年委員会

◆石井環境青少年委員長



きれいな水と衛生設備が利用できることは人権の一つですが、その恩恵を受けられない人も大勢います。ロータリー会員は地域社会において、安全な水への持続的なアクセス、衛生設備の改善、衛生管理の研修を提供しています。特に子どもがきれいな水や改善された衛生設備を利用でき、より良い衛生習慣を身につけられるようになれば、その生活はより健康的で実りあるものになります。

ロータリーの「水と衛生月間」である3月には、2030

年までにすべての人に安全な水と衛生設備、衛生環境を提供するというロータリーの目標達成に向けた取り組みを呼びかけます。以下の事例は、この目標を目指すクラブの奉仕活動の例です。

- ネパールのダルバールマルグ・ロータリークラブは、双子クラブやフルバリ・ローターアクトクラブ、エコヒマルネパール・ローターアクトクラブと連携し、公立学校の生徒が安全な飲み水を利用できるようにしました。それまで生徒が飲んでいた水は、水源から直接汲み上げた未処理の汚染水でした。そこでロータリー会員は、強力なフィルター機能を備えた安価な浄水器を14カ所に設置しました。このフィルターは現地で製造されたもので、安全な飲み水を得るための伝統的な手法によるものです。

- フィリピンのルバングアイランド・ロータリークラブは、農村部の山岳地帯に暮らす母親と子どもたちに、正しい手洗いと衛生習慣について指導しました。この地域では以前まで、地元の川から水を汲み、手洗いの習慣もありませんでした。そこでクラブの会員は、水を保全しながら手を清潔にする方法について教えました。



- ナイジェリアのラドケアキントラ工科大学では、キャンパス内のトイレの数が不足していたため、学生は自宅のトイレを使用せざるを得ない状況でした。そこで、ラドケアキントラ工科大学（LAUTECH）オグボモジョ・ロータリークラブは、キャンパス内の荒廃したトイレに校内貯水槽から

水を引き、きれいに塗装された男性用トイレと女性用トイレをいって改修しました。改修されたトイレの維持と管理は、大学運営側が担当することになりました。

- エクアドルのロハロスザラス・ロータリークラブは、ロハ県に安全な水を提供し、農村部に住む50世帯の生活環境の改善を目指しました。同クラブ会員は、ソーラーパネル駆動の小型ポンプ装置、配水タンク、基本衛生ユニット（シャワー、手洗い器、トイレ）、廃水処理システムを設置し、家庭雑排水を利用した有機家庭菜園を整備しました。



- インドにあるコラワデ村では、40年間も使われている錆びついた配水管から流れる不衛生な水を飲んでいました。そこで、プネセントラル・ロータリークラブとプネコスラッド・ロータリークラブが協力して新しい配水管を設置。その結果1,200もの村に清潔で安全な水を提供できるようになりました。

皆さんのクラブや地区では、どのようにして水や衛生の改善を支援していますか？下のコメント欄からご紹介ください。また、クラブのプロジェクトをロータリーショーケースに投稿したり、My ROTARYのディスカッショングループにもご参加ください。奉仕活動に関するこのほかの記事をクラブや地区の奉仕活動のヒントにしてください。



- 北海道開拓時代の井戸を掘った人物 北海道天塩郡天塩町 故 園田昭二郎さんの紹介。
豊富町にあった帝石石油に勤め、太平洋戦争時スマトラなどで油田開発に従事し、戦後に、油田開発技術を応用し、水道屋を兄弟で開業し開拓農家に井戸を掘った。酪農を始めたころは、水の確保をするのに川の水を引いていたが、井戸の開発で大変助かった。昭和32年前後頃まで開拓者が新規開拓をされており、各々が生活するために大変努力された話を聞いた。私、石井昌宏は富山の置き薬をされており、高齢世帯にも薬箱があるので、普段から話を教えてもらっていたので昨年亡くなった園田さんの話をさせていただきました。



・次回のプログラム

3月25日（金）

「献血例会」12:30～

会場 ANA クラウンプラザホテル釧路+WEB

担当：広報メディア委員会

・点 鐘 亀井会長

今週の会報担当：木内治彦会員